

## 平成30年度入学式 学長式辞（平成30年4月3日）

キャンパス内の桜も、今日の良き日を待っていたかのように、満開となりました。

新入生の皆さん、ご入学、おめでとうございます。駿河台大学教職員一同、皆さんを心より歓迎申し上げます。ご父母の皆様におかれましては、ご子息、ご令嬢のご入学を心よりお祝い申し上げます。また、ご来賓の皆様には、ご多忙の中、本学の入学式に多数ご臨席賜り、厚く御礼申し上げます。

さて本日は、新入生の皆さんをお迎えするに当たり、本学がどのような考え方で教育を行うか、お話ししたいと思います。

本学は、「愛情教育」を建学の精神として、昭和62年に創設されました。この「愛情教育」の精神は、教職員が「一人ひとりの学生をありのままにみつめ、一人ひとりの夢とその歩みを支援し、自立を促す教育」を行い、豊かな人間性を育てていくことを意味しています。本学は、この考え方に基づき、基礎的な教養や専門分野の知識、技能の修得を目指しています。また、現代社会は、ITの発達やグローバル社会の進展に見られるように、大きくかつ急速に変化しています。そうしたなかで、本学は、皆さんがどのような仕事についても、社会人として活躍するために必要な基礎的能力である「駿大社会人基礎力」を修得し、地域社会で中核的役割を担うことのできる人材を育てることを教育の重要な目的としています。

このような教育目的の実現を目指して、授業の面では、ゼミといわれる演習授業を、基本的には20名以内の少人数で構成し、教員がきめ細かく指導しています。そして、学生の皆さんが学ぶ楽しさ、手ごたえを実感できるよう、自主的な学びを促し、教員と学生のコミュニケーションを図るなど、先端的な授業方法も工夫しています。

大学での学びは、高校とは随分と違い、戸惑う人もいると思います。文章で解答する方式の試験やレポートの作成、最終的には卒業論文やゼミ論文の提出が求められます。こうした学習方法に慣れない人にとっては、本学の学習支援連携デスクはたいへん心強い存在となるはずです。授業の受け方、大学での勉強の仕方それ自体に自信がもてない人は、ぜひこの連携デスクを訪ねてみてください。

学習の集大成として、職業に就き、仕事を継続できる力を身に付けるために、本学では、体系的なキャリア教育を行い、教職員が一体となって就職支援を行っています。これらのきめ細かい教育と支援の成果として、平成29年度の就職率は96.7パーセントに達し、就職を希望する学生のほぼ全員が就職できました。

「愛情教育」は、教育面での精神にとどまりません。本学の運営全体がこの考え方に基づいて行われています。例えば、まだ大学生活に慣れない1年次生には、クラス担任の教

員だけでなく、職員もクラスを担当し、学生の皆さんの状況にもとづいて、教員やさまざまな部署と連携しながら、連絡をとったり、アドバイスをしたりと、学業が滞りなく続けられるよう支援しています。また、皆さんが大学に来て楽しいと思えるよう、さまざまなスペースを設け、そこで友人とおしゃべりをしたり、一人でホッとできるような居場所を作ったりしています。さらに、学生自身が主体的に企画し、実行する力を身につけられるよう、学生企画活動支援制度によってその実施に必要な支援をしています。駅伝をはじめ、近年、活躍が目覚ましいスポーツ分野でも、その強化に取り組み、大学全体が盛り上がってきています。

このようにして本学では、学生の皆さんが生き生きと毎日を過ごし、着実に力をつけることができるよう、さまざまな取り組みをしているところです。

駿河台大学教職員一同は、皆さん一人ひとりの夢と歩みを尊重し、その可能性を最大限に発揮できるよう支援し、教育を行います。新入生の皆さんが、4年間の学生生活を通じて大きく、心豊かに成長されることを願って、ご入学のお祝いの言葉と致します。

本日は、誠におめでとうございます。

平成30年4月3日

駿河台大学 学長 吉田 恒雄